令和６年度　衆議院海外派遣　報告書概要

令和６年８月１日

１．団名

衆議院フランス及びイタリアにおける決算行政監視等実情調査議員団

２．目的

フランス及びイタリアにおける決算行政監視等の実情調査のため

３．派遣議員団

団長	決算行政監視委員会	委員長	小川　淳也（立憲）
	同	理　事	中西　健治（自民）
	同	理　事	井坂　信彦（立憲）
	同	理　事	山下　貴司（自民）
	同	委　員	たがや　亮（れ新）

同行	衆議院決算行政監視調査室首席調査員	水谷　一博
	衆議院調査局調査員	宮本　強志

４．派遣期間

令和６年７月１５日（月）から２１日（日）までの７日間

５．派遣国

フランス、イタリア

６．主な調査内容

（１）フランス（マルセイユ）

① ミルマン PACA（プロヴァンス=アルプ=コートダジュール）州兼 BDR（ブ―シュ=ドゥ=ローヌ）県知事（地方長官）及び同補佐官を訪問し、フランスにおける州・県の役割（地方議会との関係を含む）、移民問題等について説明を受け、意見交換を行った。

② 在マルセイユ日本国総領事等から、フランスにおける政治経済事情等（社会保障政策・環境政策・スタートアップ支援策・家族政策、コルシカ概要等を含む）について説明を受け、質疑応答を行った。

（２）フランス（アジャクシオ）

① ヴィンチゲラ・コルシカ執行評議会議長代理兼コルシカ執行評議会経済開発機構長を訪問し、コルシカにおける自治の経緯・特有の税制・再生可能エネルギーへの取組・オーバーツーリズムの現状等について説明を受け、意見交換を行った。

② ドゥ・サンカンタン・コルシカ知事（地方長官）を訪問し、付加価値税減税（軽減税率）や公共交通への補助などの島振興策、観光産業の状況、国とコルシカとの関係性等について説明を受け、意見交換を行った。

③ モーペルチュイ・コルシカ議会議長を訪問し、付加価値税減税（軽減税率）等の国による島振興策に対する受止め、コルシカ独自の文化の継承、コルシカ域内経済の循環等について説明を受け、意見交換を行った。

④ コルシカ民間関係者（航空事業者、文化関係者及び元外交官）と、コルシカの航空事情・文化事情、フランスの外交等について懇談を行った。

（３）イタリア（パレルモ）

① 在イタリア日本国大使館参事官等から、イタリアにおける政治経済事情等（予算制度・会計検査院制度の概要、天然ガスパイプラインの活用状況、移民問題等を含む）について説明を受け、質疑応答を行った。

② ラガッラ・パレルモ市長を訪問し、パレルモの産業事情・文化振興策・エネルギー政策・外国人受入れ政策等について説明を受け、意見交換を行った。

③ シチリア州知事スタッフを訪問し、メッシーナ橋建設計画の現状、シチリアのエネルギー事情（パイプラインの状況、洋上風力発電の見通しを含む）・観光政策に係る課題・デジタル分野における先進性等について説明を受け、意見交換を行った。

④ ドゥーカＩＯＭ（国際移住機関）コーディネーター及び移民統合プロジェクト関係者から、イタリアにおける移民・難民事情（パレルモにおける支援策を含む）等について説明を受け、懇談を行った。

⑤ マリアーニ・パレルモ中央政府地方代表を訪問し、不法移民・組織犯罪対策、正規移民受入れ政策等について説明を受け、意見交換を行った。

（４）ドイツ

上記に加え、議員団は、日本とフランス・イタリア間の往路・復路それぞ

れの乗継地において、以下のとおり実情調査を行った。

① ミュンヘン（往路の乗継地）において、在ミュンヘン日本国総領事から、ドイツにおける政治経済事情等（直近の欧州議会議員選挙、ドイツの連邦制度等を含む）について説明を受け、質疑応答を行った。

② フランクフルト（復路の乗継地）において、在フランクフルト日本国領事館首席領事等から、ドイツにおける政治経済事情等（近年の経済情勢、エネルギー政策等を含む）について説明を受け、質疑応答を行った後、日本法人会理事長及び同事務局長から、ドイツにおける日本企業の現状・日本文化の振興状況等について説明を受け、懇談を行った。

（注）報告書概要は、速報性を重視した概要版として作成・掲載しているものです。詳細な内容については報告書を御参照ください。